

全力投球

びわこのエースが

1984(昭和59)年3月26日生まれ、41歳。京都府出身。東稜高1年時にびわこボートで初めてレースを見て、ボートレーサーになることを志す。卒業後、93期として2003年11月、三国でデビュー(5着)。主な同期は長田頼宗(東京)、渡辺浩司(福岡)。07年5月にびわこで初優勝。GIは08年1月、まるがめ新鋭王座決定戦で初出場、20年8月、びわこ68周年で初優勝。SGは12年桐生メモリアルで初出場、18年芦屋チャレンジカップで初優勝。2012年1月のびわこで1分42秒2の日本最速タイムをマークした。通算優勝64回(うちGI7回、SG5回)。

馬場貴也のびわこ最近10節成績

年月	大会	結果
2023年7月	GII 秩父宮妃記念杯	選抜1着
2023年8月	一般戦	優勝
2023年10月	GI 71周年	予選落ち
2024年1月	一般戦	優勝
2024年4月	一般戦	選抜4着
2024年8月	一般戦	選抜1着
2024年9月	GI 72周年	優出3着
2024年10月	GII 秩父宮妃記念杯	優出3着
2024年12月	一般戦	優出3着
2025年5月	一般戦	優出3着

4262

馬場 貴也

ばば よしや

今年はこちらまで(5月14日現在)優勝こそないものの、1月には下関70周年(準V)、とこなめBBCトーナメント(5着)とGIで2回のファイナル進出。さらに3月には若松SGクラシックの優出(6着)もあった。振り返ってみてどうか?

最近の調子は全然ダメですね。確かに1月は悪くなかったんですけど、特に近畿地区選(2月・三国)以降はいろいろなことがかみ合っていないで苦しい感じです。



不調の要因として思い当たるのは?

ペラ調整が自分の中で分かっていないことでしょうか。クラシックでは優出できたけど、最近は安心感が持てるような出足や乗り心地がずっとこない。仕上がり切れないままレースに行くと、結果も出ないことで焦りも出てくるし…。ちょっと悪循環に陥っていますね。

5月14日まで開催された当地のGWシリーズではファイナル進出(3着)だった

スリット近辺の足は悪くなかったんですけど、ターンの乗り心地や出足の押す感じがしっくり来なくて、序盤は最近の症状がそのまま出たような感じでした。それから何回かペラを叩き変えて準優はだいぶバランスは取れていたと思うけど、ペラの調整が分かったとまではいえない。

とはいえ、当地で5月から導入された新燃料(E30ガソリン)を経験しているのは大きい

今までのガソリンに比べてスタートが難しいのは分かりました。それが少しでもアドバンテージになればいいですけどね。

ボートレース甲子園は第2回の三国大会から6年連続となる出場で、第3回まるがめ大会(4着)、続く第4回下関大会(6着)と2回の優出歴。このタイトルは滋賀支部の優勝がないだけに、今回は地元エースとして期待を集める立場だ

深紅の大優勝旗、へ向けて、最後にファンの方へ抱負を

地元だからといって気負いすぎることはなく、自然体で臨みたい。いつも通り、自分らしいレースを見せられたらいいですね。

最近は結果が出ていないから大きなことは言えませんが、もちろん甲子園では初となる地元Vができればいいと思っています。

